

Toyokoro Letter

着任後、半年を迎えて…

9月に着任し、やっと半年を迎えることができました。「地域の活性化」を考える上で、何ができるか…という思いを持ちながら着任しましたが、ここまでくには多くの方々のご協力やご援助がなければ生活を送ることすらできなかったと思っています。

最初は豊頃町の基幹産業である農業や漁業、これら第一次産業について今まで目にする機会が少なく、見るも聞くも全て初めての状況と、北海道の住宅や習慣に関しても本州とは異なることばかりで、生活を送るのも精一杯。体力も気力も使い果たし、疲れて寝てしまう日が多くあったように思います。



真剣に話し合いをする参加者

今後の半年は町民の思いを混ぜながら新たに活動展開を企画し、実行する時期と捉えています。

人口減少が問題になっていくこの豊頃町で、人を呼

地域づくり推進員 鎌本真理から「とよころ」のステキを紹介します。



び込むことは一筋縄ではいかない努力と耐力が必要になってくると思いますが、町内の有志を募り、「町づくり」が展開できれば…。また、今まで豊頃男子の呼称で行っていた事業も、拡大して実施しようと検討中です。「三人寄れば文殊の知恵」多くの方の



今後の展開について語る

アイデアを形にできるよう町民同士の関係性をより濃くし「豊頃町民で良かった」と思えるような町づくりができるよう、一緒に活動していきたいと思っています。

4月からは地域商社が始動し、社員として出向します。皆さんと町づくりに関してディスカッションできる時間を楽しみにしています！



Facebookにて「ToyokoroLetter」を運営中
お気軽にフォローよろしくお願いします♪

園児たちへ絵本のプレゼント



3月14日、茂岩保育所の園児たちへ商工会女性部が絵本を寄贈しました。

町商工会女性部長である大谷美男子さんから、代表の園児たちへ絵本が手渡されました。

絵本は「みみかきめいじん」のほか全4冊で、早速、封が開けられた絵本を保育士の先生から読み聞かせしてもらい、真剣な眼差しで聞き入っていました。園児たちはこの日を楽しみにしていた様子で、新しい絵本が届いたことにとっても喜んでいました。



支え合い助け合いフォーラム



3月19日、ひだまり交流館で「支え合い助け合いフォーラム（社会福祉協議会主催）」が開催されました。翁川由希氏（公益財団法人さわやか福祉財団）を招き、「みんなで支え合うまちづくり」をテーマに講演が行われました。少ない若者が大勢の高齢者を支えると言われているが、見方を変えることで大勢の高齢者が少ない若者や子どもたちを支えることができるのではと話し、これからの時代における柔軟な生活支援体制が必要になってくることを、各地で行われている事例を基に講演されました。

最後に地域の助け合いを疑似体験できるカードを使ったグループワークが行われ、参加者は地域で支え合う大切さを学びました。

町民ミニバレーボール大会



3月25日、第23回町民ミニバレーボール大会が総合体育館で開催されました。小学生から一般の参加者が50名以上集まり、一般の部、中学生の部、小学生の部にわかれ、白熱した試合を繰り広げ、バレーボールを通して世代を超えて親睦を深めました。結果は以下の通りです。

一般の部【優勝】 うさぎ
中学生の部【優勝】 Cチーム
小学生の部【優勝】 Bチーム

大津コミセンフェスティバル



3月11日、大津コミュニティセンターで「第18回大津コミセンフェスティバル」が開催されました。大津小学校の児童たちによるハンドベルの演奏や杉山君代さんによる舞踊など、参加者はそれぞれ地域の方々へ練習の成果を発表しました。このほか大津駐在所からオレオレ詐欺の予防啓発の紙芝居が披露され、臨場感たっぷりの紙芝居から参加者はオレオレ詐欺の危険性について認識を深めました。終始笑い声が絶えず、参加者は大いに楽しんだ一日になりました。

馬鈴薯貯蔵庫竣工式



3月7日、完成した種子馬鈴薯選別貯蔵施設の竣工式が行われ、農協や施工業者ら約30人が出席しました。平成28年度の国の事業（産地パワーアップ事業）に採択され、平成29年3月から施設の建設を着手していました。選別・貯蔵施設を1か所に集約することで作業効率の向上や換気システムの向上により、質の良い種子馬鈴薯の供給が期待されています。豊頃町農業協同組合の山口良一組合長は、「今年の秋から安定して種芋が町内に供される。今年も豊稔を期待している」と挨拶しました。

駐在だより
はるにれ
～みんなで築こう 安全で安心な大地～
http://www.ikedasyo.police.pref.hokkaido.jp

池田警察署 572-0110
茂岩駐在所 574-2013
豊頃駐在所 574-2151
大津駐在所 575-2002
作成：砂山和則

春の交通安全運動の実施

★子どもと高齢者の交通事故防止

運転者は、お年寄りや子どもがいたらスピードダウン！歩行者も信号を守り、道路の横断には注意！

★自転車の安全利用の推進

自転車も車両です（軽車両）。車と同じように信号や標識に従って交通ルールを守りましょう。飲酒運転はもちろん違反です！

★シートベルトとチャイルドシートの正しい着用

全ての座席でシートベルトを着用し、小さな子どもにはチャイルドシートを着用させましょう。

★飲酒運転の根絶

運転者はもちろん、同乗者、車を貸した者、酒を飲ませた者にも厳しい罰則があります。規範意識を持って飲酒運転を根絶しましょう！



山菜採り 無我夢中に 落とし穴

～ 山菜採りの心構え5箇条 ～

1. 行き先と帰宅時間を家族などに知らせましょう。
～搜索場所を特定できます。
2. 単独での入山は出来るだけやめましょう。
～複数で行くと事故の発生率が下がります。
3. 目立つ服装で出かけましょう。
～ヘリ等の搜索時に発見されやすい。
4. 携帯電話、非常食、水、熊鈴、ラジオ、笛、懐中電灯等を携行しましょう。
～もしもの事を想定する。
5. 迷った時こそ落ち着いて行動しましょう。
～体力の消耗を抑え、発見されやすい場所を探す。

自転車にはツーロックと防犯登録を

自転車利用者は、自転車から離れる際は確実に施錠しましょう。

鍵も1個だけではなく、2個以上取り付けすることで、より盗難を防止できます。

また、新しく自転車を購入した場合等、防犯登録をすることで、万が一盗難被害に遭っても自転車が見つかる場合があります。